**2026年2月（第６版）
*2024年7月（第５版）

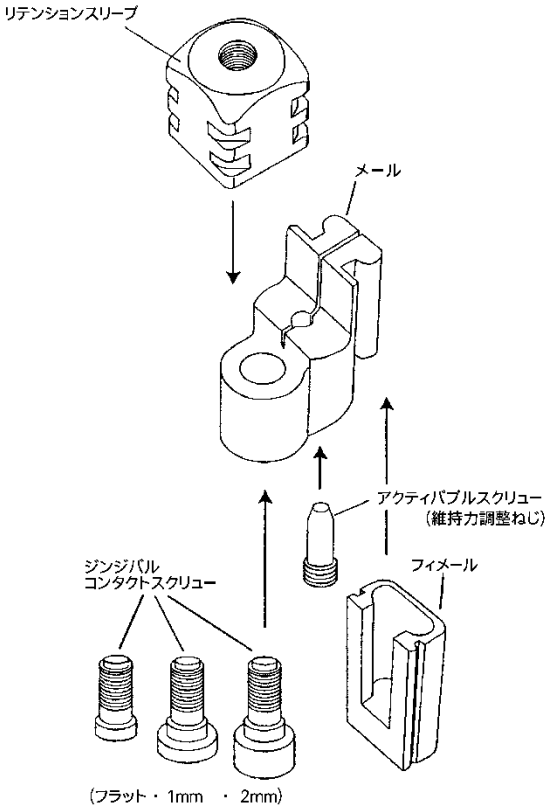
承認番号：20400BZY00168000

医療用品４ 整形用品
管理医療機器　歯科用精密スライドアタッチメント 38580000

マイクロ・デグテックＡＰＳ

【形状・構造及び原理等】

形状：



構成：本品を構成する部品は下記のとおりである。

部　品	材　質
メール	Au-Pt-Ag合金
フィメール	Au-Pt-Pd合金
リテンションスリーブ	Pt-Ir合金
ジンジバルコンタクトスクリュー	Ti-6Al-4V合金
アクティバブルスクリュー	Ti-6Al-4V合金

【使用目的又は効果】

可撤性補綴物の維持装置として用いる。

［使用目的］
両側・片側遊離端欠損、中間歯欠損の義歯部維持装置

【使用方法等】

１）二歯以上の支台歯にワックスパターンを完成し、スペースメインテナーAPSを取り付けたフィメールをパラレルホルダーAPSにセットし、測定した着脱方向にあわせてパターンに位置させます。

２）スペースメインテナーAPSをワックスパターンに固定します。鋳造用埋没材の中でスペースメインテナーAPSを確実に固定させるために、メインテナーの上部を咬合面上に約0.5mm程出すようにしておきます。

３）鋳造後、スペースメインテナーAPSが突出している部分を咬合面の形状に合わせながらトリミングします。次に、その後のソルダリング作業のためのノッチを頬側、あるいは舌側に付与しておきます。

４）フィメールをパラレルホルダーAPSを使用して設定した着脱方向からスペースメインテナーAPSにセットします。

５）ワックス、又はパターンレジンでフィメールを正しい位置で固定します。

６）パラレルホルダーAPSを外し、カーボンバーをソルダリングのためにセットします。（フィメールを鋳接する場合には、カーボンバーは使用しないでください。）

７）埋没材「デグベストＬ」でソルダリングブロックを作る場合、フィメールはカーボンバーでその位置を正確に保ちます。ソルダリングする部分から埋没材までの距離を十分とっておきます。ソルダリング後、余剰のソルダーをトリミングしながら形態を整えます。（クラウンに陶材を焼付ける場合には、「デグデントソルダー」などの高い作業温度のソルダーを使用してください。）

８）ソルダリングした（又は、鋳接した）フィメールにメールをセットします。リテンションスリーブをメールにセットし（この場合、スクリューで固定しません）、スリーブ上面に突出するスクリューの部分をブロックアウトするためにワックスを薄くコーティングします。印象材「デグフォーム」で複印象しますが、リテンションスリーブは印象材中で正確な位置に固定されます。

９）アッセンブリースリーブ・ピンをバーナーの炎で酸化させ、リテンションスリーブに取り付けます。（ピンがコーティングしたワックスを通してスムーズに取り付けられるようにするために軽く加熱された状態で作業します。）

10）耐火模型材を印象に注入し硬化させると、模型上にリテンションスリーブが正確な位置に固定され、鋳接の準備が完了します。

11）通法により鋳造床のワックスアップを行います。リテンションスリーブをフレームと鋳接する場合には、その３面を約0.3mmの厚さのワックスで囲いますが、リテンションスリーブの咬合面側はワックスでカバーしないようにします。

12）床の鋳造後、鋳接されたリテンションスリーブとメールをスクリューで固定し、模型上で適合性をチェックします。
レジン床の未重合のレジンがメールのスリットなどに圧入されてしまうと作業に困難を生じるので、ブラス合金性のアッセンブリーメールAPS（アクティベートできません）に取り替えて作業します。ジンジバルコンタクトスクリューのスペースを確保するために、重合前にその部分をブロックアウトしてください。

13）レジン床の重合・研磨作業を完了した時点で、アッセンブリーメールAPSを本来使用するメールと交換し取り付けます。

14）鋳造床とリテンションスリーブをソルダリングする場合は、スリーブをスクリューでしっかり固定します。
すべてのアンダーカットをブロックアウトし、アタッチメント全体が複印象から撤去できるように処理し、耐火複模型を製作して通法によりワックスアップします。

［使用方法等に関連する使用上の注意］

１）義歯の設計は、必ず患者口腔内粘膜状態、咬合状態、支台歯の骨植状態を十分考慮して行うこと。特に遊離端欠損の場合は義歯の安定を図るため、結節を含む十分な床面積を確保すること。

２）アタッチメントを付与する部位は、必ず二歯以上の支台歯を連結すること。

３）アタッチメントの保護及びリジッドコネクト達成のため、正確に適合したブレージングアームを付与すること。

４）アタッチメント分解時には、微細パーツの紛失に注意すること。

５）必ず６ヶ月に１回リコールをし、粘膜面及びブレージングアームの適合状態の確認・調整及び、アタッチメントのクリーニングを行うこと。

6）アクティバブルスクリューは、維持力の強さを確認しながら少しづつ回すこと。一気に多く回すとメールに永久変形が発生し、維持力を弱めることができなくなったり、アクティバブルスクリューのネジ山を壊してしまうことがありますので十分注意すること。

7）ろう付作業中は換気に十分注意するとともに、保護めがねを使用して目を保護すること。また、作業終了後は速やかに洗面、洗眼、うがいなどを行いフラックスによる汚染を除くこと。

8）フラックスは歯科用フラックスを使用すること。

9）歯科用フラックスを使用する場合には、その説明書に表示してある使用上の注意事項を守ること。

【使用上の注意】

1）使用注意

①本品を使用する前に「マニュアル」をよく読むこと。
②口腔内で本品の削合や研磨を行わないこと。
③本品の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
④本品の研磨の際には、目の損傷を防ぐために、保護めがねなどを使用すること。
⑤本品は、小さな製品なので、特に口腔内での誤飲には注意すること。
⑥本品は、１患者１回限りとし、反復使用及び複数患者には使用しないこと。

2）重要な基本的注意

①本品の使用に対して発疹、皮膚炎などの過敏症がないことを確認すること。
②本品の使用により発疹などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

*③本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない［自己認証による］。

【保管方法及び有効期間等】

［保管方法］

本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	デンツプライシロナ株式会社
製造国	ドイツ
製造業者	デグデント社 DeguDent GmbH

［問い合わせ窓口］

カスタマーサービス

**電話番号 0120-667-467